

田村 ゆうすけ 36 歳

ともに生きる



神奈川県議会議員 瀬谷区選出

田村ゆうすけ

検索



神奈川県議会 第三回定例会 一般質問 本会議登壇 9 月 19 日

質問内容計7問

1 医療的ケア児に対する医療・福祉面での支援について(保健福祉局)【局長】

制度の狭間にある、いわゆる医療的ケア児について、その家族の悩みにワンストップで対応できる相談窓口を設置するなど、教育面だけでなく医療・福祉面での一層の支援が必要と考えるが、見解を伺う。

2 横浜市瀬谷区域における境川の浸水被害対策について(県土整備局)【局長】

7月上旬に、九州北部で記録的集中豪雨が発生したところであり、ハード対策だけでなく、住民が円滑に避難できるようソフト対策を進めることも重要と考える。横浜市瀬谷区域における境川の浸水被害対策について、今後どのように進めていくのか伺う。

3 理学療法士等の活用による災害関連死の対策について(保健福祉局)【知事】

避難所での生活は不活発になりやすく、障害者や高齢者等が、「動かない」状態が長く続くことで、心身機能の低下から災害関連死として命を奪われることのないよう、避難所での生活において、理学療法士等を活用することが有効と考えるが、災害関連死の予防として、理学療法士等の活用についてどのように考えているか伺う。

4 県立がんセンターにおける重粒子線治療について(保健福祉局)【知事】

県立がんセンターの重粒子線治療施設は、がん専門病院併設の世界初の施設として3年目を迎えたが、県内で最先端のがん治療が受けられることが、まだ、十分に知られていない。県立がんセンターの重粒子線治療施設について、より多くの患者が治療を受けられるよう、どのように取り組んでいくのか伺う。

5 新生児聴覚検査について(保健福祉局)【局長】

出生直後の聴覚検査で障害を発見され、適切な療育が受けられた場合、音声言語を聞いて話す力も身につけやすいが、全国で約10万の新生児が検査を実施されていない。新生児聴覚検査の実施を進めることや、障害が発見された後の支援について、県はどのような役割を担って取組を行っているのか伺う。

6 みんなのバリアフリー街づくり条例に係る情報提供について(保健福祉局)【局長】

障害者等、すべての県民が社会参加できるバリアフリーの街づくりを進めていくため、バリアフリー設備・機能がすべて整った施設等に関する情報提供や、「みんなのトイレ」についての情報提供が欠かせないが、県が行う情報提供について、今後どのように取り組んで行くのか伺う。

7 ゾーン30の周知等について(警察本部)【警察本部長】

区域設定し走行速度を時速30キロ未満に抑制するゾーン30の対策により、実際に交通事故が減少しており、非常に有効と考えるが、十分に知られていない。そこで、ゾーン30に係るこれまでの取組状況、整備後の効果及び県民への周知方策について伺う。

一般質問 知事・県土整備局長・保健福祉局長・警察本部長 答弁

自民党政務調査会副会長として今定例会で一般質問の機会を頂き 9 月 19 日の本会議にて直接、知事や担当局長に答弁を求めました。質問の内容は表面です。

1. 全国に先駆け本県で専門の相談窓口を設置するとともに今後、市町村とも連携を取りながら支援を強化していく。
2. 全長52km ある境川のハード整備について、まず横浜市瀬谷区の相鉄線橋梁部分の護岸整備を第一優先として進めていく。また近年の降雨状況を踏まえ洪水浸水想定区域図の見直しを行い、ソフト面での整備も併せて行っていく。
3. 災害福祉医療チームを立ち上げ、医療福祉を専門領域とする理学療法士等と



連携・調整をしていく。



4. 重粒子線治療開始当初は前立腺がんのみにしか対応していなかったが、治療開始から 3 年が経ち対応できる部位が広がった。このことを、しっかりと県民に周知を図っていく。また来年 4 月の診療報酬改定に合わせて、先進医療扱いから保険適用扱いになるよう引き続き検討する。

5. 基本的には市町村単位で行う事業であるが、広域自治体としてその必要性を周知し、障害が発見された後の受け皿をしっかりと対応できるように進めていく。

6. 今まで、バリアフリー設備機能が整ったトイレ単体は周知を行って来ませんでした。今後はトイレ単体も含めバリアフリー設備機能が整った公共的施設をしっかりと県民に周知を行っていく。
7. 瀬谷区内でも 5 か所で「ゾーン30」の整備が完了している。整備を行ったエリア内の交通事故は25%減少し県内では約 200 か所以上で整備が完了している。今後も引き続き悲惨な事故が発生しないよう「ゾーン 30」の取り組みを県民に分かりやすく周知を行う。

以上、要点だけを抜粋し簡単にしたものを回答として書かせて頂きました。詳しく情報が必要な場合は、私の事務所にご連絡を頂ければご案内をさせていただきます。また、県のホームページにも、この一般質問の動画が配信されています。

私は 2 年前の統一地方選挙で皆様のお力添えを頂き県議会議員という立場で仕事をさせて頂いています。東日本大震災で親戚を亡くし、選挙前より訴えさせて頂いた「防災対策」「子育て支援」「医療福祉」この柱をブレることなく議会でも発言をさせて頂いています。今後も、県民・瀬谷区民の皆様の安心・安全はもちろんのこと、「命」と「暮らし」をしっかりと守り抜いてまいります。



神奈川県議会議員（瀬谷区選出）

田村 ゆうすけ

- ・ 自由民主党政務調査会 副会長
- ・ 防災警察常任委員会 委員

- ・ 瀬谷区阿久和西 2 丁目在住
- ・ 習い事 手話教室
- ・ 4人男兄弟の長男
- ・ 家族は妻、子供 3 人
- ・ 1980 年 11 月 29 日宮城県仙台市生まれ
- ・ 衆議院議員 さかい学の秘書を経て
- 2015 年 4 月 神奈川県議選に初当選



<http://tamura-y.com/>

田村ゆうすけ
で検索

